

私が棄てた女 (1969)

メディア 映画

ジャンル ドラマ ロマンズ

製作国 日本

色彩 B&W/C

時間 116分

初公開日 1969/09/03

公開情報 日活

【解説】

遠藤周作の『わたしが・棄てた・女』を「キューポラのある街」の浦山桐郎監督が映画化。幸せな人生のためと田舎娘を棄て、出世の道を選んだ男の末路を虚無的とも諦観ともとれる眼差しで描き、愛や人生について静かに問う名作。自動車の部品会社に勤める吉岡努は、自らの出世のため、専務の姪のマリ子との結婚を控えていた。ある夜クラブの女から、吉岡が学生時代に遊んで棄てたミツという女が中絶したとの噂を聞いた。吉岡は今でも責任を感じつつ、マリ子と盛大な結婚式を挙げるのだったが……。

【クレジット】

監督 浦山桐郎

企画 大塚和

原作 遠藤周作

『わたしが・棄てた・女』

脚本 山内久

撮影 安藤庄平

美術 横尾嘉良

深民浩

編集 丹治睦夫

音楽 黛敏郎

Toshiro Mayuzumi

出演 河原崎長一郎

吉岡努

浅丘ルリ子

三浦マリ子

小林トシエ

森田ミツ

加藤武

森田八郎

岸輝子

森田キネ

夏海千佳子

深井しま子

加藤治子

三浦ユリ子

小沢昭一

露口茂

早野寿郎

佐野浅夫

辰巳柳太郎

江守徹

大滝秀治

遠藤周作